

元委員 割れた認識 「知事後援会費用負担」で尋問



元長野県調査委員の松葉謙三弁護士（手前右）と醍醐聡東大大学院教授（同左）を証人尋問した
県会百条委員会

県会調査特別委員会（百条委員会）は8日、県が設置した「長野県調査委員会」委員と田中知事の懇親会の飲食費を知事後援会が負担した問題で、県調査委の元委員の醍醐聡・東大大学院教授と、元事務局長の松葉謙三弁護士を証人尋問した。知事後援会が北佐久郡軽井沢町在住の松葉氏の飲食費を負担したことは、公職選挙法（政治家後援団体による選挙区内の住民に対する寄付の禁止）に抵触する可能性が指摘されているが、松葉氏は「選挙の公正を害することはないので、違法性がない」と主張した。

県調査委は、長野冬季五輪招致委員会の帳簿焼却問題などを調べるため知事が2004年2月に設置。同年3月、都内の料理店で開いた委員7人と知事の飲食を伴う懇親会の飲食費8万円余を知事後援会が負担した。

醍醐氏は「公的な立場の委員が私的な政治団体から費用負担を受けるのは重大な問題」と主張。五輪招致に深くかかわり、知事後援会の元会計責任者代行だった長野市内の元会社経営者が調査対象に挙がっていたとし「県民の疑惑を招くことは避けるべきだ」とした。

これに対し、松葉氏は「委員は独立心が旺盛な人たちばかりで、費用負担で影響を受けることはない」と説明。「知事から調査方針について干渉、強要があったならともかく、全くないのに大騒ぎするのは理解に苦しむ」とも述べ、「委員会の独立性」に疑念を示して委員を辞任した醍醐氏を批判した。

百条委は18日の次回、知事後援会役員や会計責任者を証人尋問する方針。

<田中知事後援会による飲食費負担問題>

田中知事後援会による飲食費負担問題 2003-04年に複数回行われた知事、県審議会委員、県職員らの懇親会の飲食費用を知事後援会が負担した。判明している9件で負担額は計60万円余。「長野県調査委員会」の委員7人と田中知事の懇親会は04年3月、都内の鶏料理店で開かれ、醍醐聡委員が同年5月に後援会による費用負担などを批判して委員を辞任し、一連の問題が表面化。その後、県調査委員らは懇親会費用の自己負担分を知事後援会に返還した。

(2005年11月9日 信濃毎日新聞掲載)